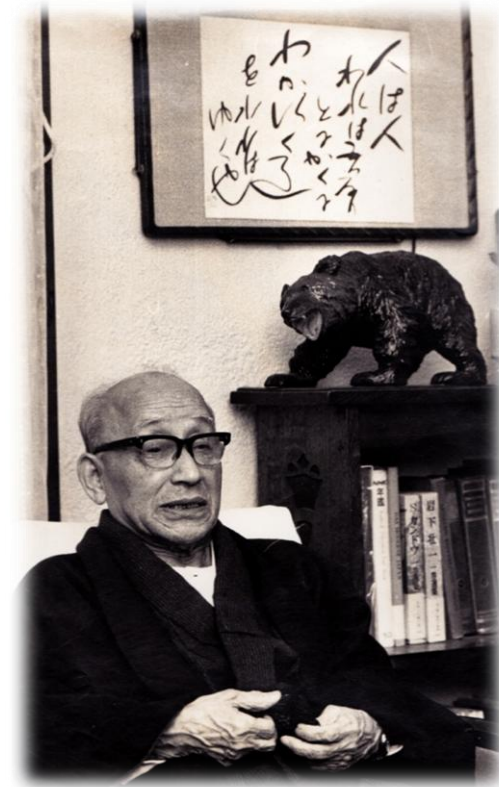


獨協大学同窓会石川県支部20周年記念講演会

「天野貞祐先生の師、西田幾多郎博士に学ぶ」

平成27年12月5日(土)
開場14:00 開演14:30
場所: 西田幾多郎記念哲学館
石川県かほく市内日角井1
参加費 同窓生の方は無料
一般の方は入館料 300円

* 講演会終了後は、安藤忠雄氏の設計による館内を観覧できます。神秘的な空間で、思索体験して下さい。



西田幾多郎博士

明治3年5月19日石川県かほく市(旧石川県河北郡宇ノ気村)で生まれ、明治24年東京帝国大学文科大学哲学科選科に入学、哲学の道に進み、昭和20年6月7日鎌倉で75歳の生涯を閉じました。この間、第四高等学校をはじめ数々の学校で教鞭をとり、日本初の哲学書『善の研究』をはじめ数々の論文を発表し、京都大学京都大学教授時代には多くの門下生を世に送り出しました。退職してなお、死の直前まで思索を練るなど、その思想はのちに「西田哲学」とまでいわれ、我が国を代表する世界的哲学者と評価されています。



獨協大学建学の碑

人は人
われは吾なり
とにかくに
わがいく道
をわれは
ゆく也

西田幾多郎 書 (昭和9年)

獨協大学創設者 初代学長 天野 貞祐 (あまの ていゆう)

明治17年、神奈川県津久井郡鳥屋村(現・相模原市津久井町)に生まれる。明治39年、獨逸学協会学校中学を主席で卒業、旧制第一高等学校に入学。カント哲学研究の意欲に燃え、京都帝国大学哲学科に入学。卒業後、大学院に進学し、助手時代に初めて西田幾多郎の講義を聴き、ただならぬものを感じ、その後門下生となる。

大正8年、西田幾太郎の推薦で学習院教授となって上京。ドイツ・ハイデルベルク大学留学。京都帝国大学助教授や旧制一校校長等を経て、昭和25年、第三次吉田内閣の文相に就任。文化功労者。昭和39年獨協大学を創立し初代学長に就任。昭和55年、武蔵野市の自邸にて逝去。享年96歳。

金沢駅西口から送迎バス運行 **出発13:30**



第20回石川県支部総会 18:00~

会場 テルメ金沢 金沢市松島町17

※講演会場からテルメ金沢まで送迎バスで移動します

会費 5,000円(入場料込み。ご入浴もいただけます。)

講師: 獨協大学国際教養学部教授
松丸 壽雄(まつまる ひさお)先生



【プロフィール】

1945年東京都生まれ。
京都大学農学部卒業後、同大学文学部卒業。京都大学大学院博士課程(宗教哲学専攻)。スイス・バーゼル大学(神学科)留学。独デュイスブルク大学客員教授。
1989年獨協大学教養部助教授。2007年から現職。
著書:「直接知の探求 西田・西谷・ハイデッカー・大拙」、編・解説:「西田哲学選集3」「三木清・無情(京都哲学選書26)」、共編:「欲望・身体・生命:人間とは何か」など。